

30 消防用設備等の活用状況

【関連章第8章】

事例2 「ブタンガストーチバーナから出火し、屋内消火栓設備を活用し消火した火災」

出火時分 12月 18時ごろ
用途等 寄宿舍 耐火造 7/0 延5,000㎡
防火管理 該当選任あり 消防計画あり
被害状況 建物ぼや1棟 内壁若干、ブタンガストーチバーナ1個等焼損

概要

この火災は、寄宿舍の3階居室から出火したものです。

出火原因は、居住者が調理にブタンガストーチバーナを使用した際に、ブタンガストーチバーナからLPGが漏洩し引火して出火したものです。

居住者は、夕食の準備中、ブタンガストーチバーナを使用した際にガス量調整つまみから火が噴いたのを発見しています。居住者は、水道水で消火しようとしたのですが、火が消えなかったため、自動火災報知設備の鳴動で駆け付けた他の居住者と協力し、建物に設置してある屋内消火栓設備を使用して初期消火を実施しています。初期消火を実施後、居住者は自身の携帯電話で110番通報しています。

教訓等

この火災は、使用中のブタンガストーチバーナから出火しており、建物の居住者が協力して屋内消火栓設備等を活用し初期消火を実施することで被害を最小限に抑えています。

建物の居住者同士が協力して活動しているところから、日頃からの自衛消防訓練の成果が発揮されたものといえます。

万が一の火災に備え、消防用設備等が有効に活用できるよう、自衛消防訓練等を通じて、日頃から訓練を行うこととともに、消防用設備等を法令で定められた定期的な点検を実施することで維持管理に努め、不備等があれば早急に是正し、適正な維持管理に努めましょう。



写真 30-4 焼損状況



写真 30-5 延長した屋内消火栓設備の状況